



開館時間 (火)～(金) ▶ 9時～17時 ■問い合わせ  
 (土)・(日) ▶ 9時～16時 多久市立図書館 ☎75-2233  
 休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始

「おすすめの新着本」

「その他おすすめの本」



きつねくんから  
りすくんへの  
プレゼント

### ゆきのひ

作・くすのき しげのり  
文・絵・いもと ようこ (佼成出版社)

さむい冬。きのうからふりつづいた雪で、あたり一面まっ白。さっそく、みんな雪がっせん。きつねくんがなげた雪のたまが顔にあたって、りすくんは泣き出していました。どうしたらいいかわからなくなったきつねくんは…。



障害を持った赤尾先生と子どもたちのかけがえない1年間の記録

### ありがとう3組

作・乙武 洋匡 (講談社)

「五体不満足」の著者・乙武洋匡さんは、スポーツライターとして活躍した後、東京都内の小学校で教員を歴任。この本は、教員時代の経験をもとに描いた小説です。電動車椅子に乗った6年3組担任の赤尾先生と個性豊かな子どもたちの1年間は、感動がいっぱいです。



動乱の時代を生き抜いた女性 新島八重を描いた作品

### 新島八重 その生涯

作・不破 俊輔 (明日香出版社)

会津藩の砲術師範である父をもつ八重は、戊辰・会津戦争で銃を持ち戦います。その後、明治期の教育家で同志社大学の創設者となる新島襄と結婚。幕末から明治へと移り変わる動乱の時代を力強く生きた八重の生涯を描いた1冊です。

## 子育て支援施設 & 催しのご案内

### 児童館 ☎75-6621

いずれも対象は幼児から小学生までです。

#### ◆すこやかタイム

毎週土曜日 10時30分～  
13時30分～

- 1/5(土) コマ作り
- 1/12(土) おりがみあそび
- 1/19(土) メルヘンタイム
- 1/26(土) 節分オニ作り
- 2/2(土) おしゃれ封筒作り
- 2/9(土) おりがみあそび

#### ◆母と子のサロン

毎週火曜日 10時～12時  
1/15(火) 『ふれあい遊び』  
(講師：児童厚生員)

### 子育て支援センター

☎75-5780 (杉の子保育園内)

#### ◆子育てクラブ「わくわくランド」

日時 毎週木曜(祝日休み)  
10時～12時

場所 多久市児童館

#### ◆園庭開放 (杉の子保育園内)

日時 月～土曜日(祝日休み)  
9時～14時

#### ◆子育て相談 (電話相談可)

日時 月～土曜日(祝日休み)  
9時～17時

**[1月の休館日]**

1日(火)、 2日(水)、  
3日(木)、 7日(月)、  
14日(月)、 21日(月)、  
28日(月)、 31日(木)

※31日は月末図書整理のため休館します

- | 児童向き                      | 一般向き                                    |
|---------------------------|---|
| ◆はじめての編み物 道具を使って (寺西 恵里子) | ◆この君なくば (葉室 麟)                          |
| ◆ペンギンきょうだい (たしろ ちさと)      | ◆満月ケチャップブライス (朱川 湊人)                    |
| ◆おおきなソウとちいさなソウ (さしほろ ちさと) | ◆あと少し、もう少し (瀬尾 まいこ)                     |
| ◆だれかさんのかばん (ひがし あきこ)      | ◆山中伸弥先生に、人生とIPS細胞について聞いてみた (山中 伸弥、緑 慎也) |
| ◆フンボルトくんのやくそく (森山 京)      | ◆続・暮らしを美しくするコツ609 (暮しの手帖編集部)            |

人権教育 No. 189

## ともに生きる 「努力」

中学三年の男子生徒のお話です。彼は、中学校入学と同時に、サッカー部に入学しました。ところが入部してみると、メンバーのほとんどが、小学生の頃からサッカーをしている経験者ばかり。練習にだんだんついていけなくなり、一年の中頃には退部してしまいました。それから何もすることなく月日だけが過ぎていきました。

三年生まで、何もやる気が起こらなかった彼が、新入生に向けた部活動紹介に参加して剣道に興味を持ちました。剣道部に入部した彼は、毎日練習に励みましたが、試合に出ても勝つことはありませんでした。そして迎えた中体連。三年生は最後の試合です。たった三か月で覚え

た技が、試合でどれだけ通用するか不安で一杯でした。彼は、「勝りたい…」それだけで。そのためには、今、自分にできることを出し尽くす。そして無心になる。その気持ちで試合に挑んだら、奇跡が起こりました。試合に勝ったのです。先生が、「三年生から剣道を始めて、たった三か月で勝つのは奇跡だ。君の毎日の努力がその奇跡を起こしたんだ。」と言ってくれたそうです。

『念すれば花ひらく(坂村真民)』という詩があります。何ごとも一生懸命、念ずるように努力すれば自ずと道は開けるといことです。私は、彼の中学校三年間の貴重な経験と、この詩とが重なって胸が熱くなるのを感じました。

子どもたちの夢や希望を、差別やいじめなどでなくすことのないよう、新たな決意を持って人権教育・啓発に取り組んでいきます。

社会教育指導員 野中 久美子